

合併15周年記念
久喜市の未来を語ろう
《タウンミーティング》
～住み続けたいまちの実現に向けて～
概要報告



令和7年7月～11月、市内9会場で「合併15周年記念」久喜市の未来を語ろうタウンミーティング～住み続けたいまちの実現に向けて～」を開催しました。

タウンミーティングでは、市長が市民の皆様へ市政の状況について報告し、より魅力のあるまちの実現に向け、皆様との意見交換を行いました。

ここでは、皆様からお寄せいただいたご意見やご提案などの一部を抜粋してご紹介します。
※詳細は市ホームページをご覧ください。

問 シティセールス課広報広聴係 (内線2251)



開催日程および参加者数

場所	日程	参加者数
清久コミュニティセンター	7/28(月)	57人
桜田コミュニティセンター	8/9(土)	43人
菖蒲文化会館	8/24(日)	35人
栗橋文化会館	8/31(日)	57人
森下コミュニティセンター	9/29(月)	38人
ふれあいセンター久喜	10/11(土)	63人
鷺宮西コミュニティセンター	10/16(木)	31人
栗橋コミュニティセンター	10/21(火)	21人
毎日興業アリーナ久喜	11/1(土)	21人
	延べ人数	366人

新ごみ処理施設周辺の渋滞対策などについて

【意見等】
令和9年のごみ処理施設・公園完成に伴う車両増加（パッカー車・一般車）に対し、渋滞対策や走行ルートをどう考えていますか。また、混雑時の対応についても伺います。

【回答】
パッカー車は生活道路を避け、主に久喜菖蒲工業団地を経由するルートを設定します。清久・菖蒲地区はさくら通り、他地区はさいたま栗橋線から工業団地内を通行します。また、来場者に対しては、公園内の駐車場確保や公共交通の活用を検討し、オープン後も状況を見守りながら周辺の渋滞防止に努めます。



義務教育学校の今後の展開について

【意見等】
市内初の義務教育学校として、鷺宮西小中学校が開校されますが、今

運転免許返納者への支援と地域公共交通の再構築について

【意見等】
高齢化による運転免許返納者が増加する中、バス路線がない地域の移動負担が深刻です。不公平感の解消に向け、タクシー無料券の配布など支援を拡充してほしいです。

【回答】
運転免許返納者への支援には、地域におけるさらなる利便性の向上が急務と認識しています。令和9年の新ごみ処理施設完成に合わせた交通体系の抜本的見直しに向け、デマンド交通やくきふれあいタクシーの活用しやすい環境づくりやタクシー助成のあり方を検討します。深刻な運転手不足への対策として、自動運転技術の導入も視野に入れ、持続可能な移動手段の確保に努めてまいります。

グローバル教育の推進と共生社会の実現について

【意見等】
工業団地の発展などに伴う外国籍住民の増加を見据え、学校教育に「グローバル」の視点を積極的に取り入れるべきです。外国の方との交流を通じて、コミュニケーション能力を育成してほしいです。

後の市内全域における整備計画や展望について伺います。

【回答】
義務教育学校による9年間の一貫教育は、教育内容の充実にも有効であり、学校の小規模化が進む地域における適正配置の1つの選択肢と考えています。また、少子化に伴い、適正な集団規模での教育を求める声がある一方、地元の小規模学校がなくなることへの懸念もありますので、地域の皆様と丁寧な議論を重ね、次世代のための最適な教育環境の整備に努めます。

農業振興拠点（道の駅）の集客戦略について

【意見等】
道の駅について、子育て世代や現役世代を惹きつけるための具体的な集客策を広くPRしてほしいです。

【回答】
県内屈指の売上を誇る農産物直売所の強みを活かし、観光農園やドッグランなどの体験型施設を検討しています。将来的には菖蒲パークキングエリアへのスマートインターチェンジ設置も見据え、市全体の商業者が参画したくなるような、広域から人が集まる農業・観光の拠点づくりを推進してまいります。

【回答】
外国籍児童生徒が多い学校に対する日本語指導教員の単独配置や、英検受験料の公費負担、イングリッシュキャンプなどの施策を推進しています。世界で活躍できるように、今後もデジタル技術を活用した国際交流などを通じ、コミュニケーションがとれるごどもたちを育ててまいります。

市内には50カ国以上の外国籍市民が在住しており、産業や教育現場での活躍も広がっています。姉妹都市交流などを継続するとともに、地域での孤立を防ぎ、互いに認め合える「共生社会」の実現に向けた取り組みを強化してまいります。

住み続けたいまちの実現に向けた魅力発信について

【意見等】
住み続けたいまちの実現に向けて、特に若者世代に対する魅力発信と定住促進の取り組みを強化してほしいです。

【回答】
若者が広い世界で活躍しつつ、将来「久喜市に帰ってきたい」と思える魅力ある故郷づくりを目指します。そのために、都市機能の強化と民間投資の促進に注力し、久喜駅西口再開発をはじめとする重点施策を着実に成功させることで、次世代へ希望あふれる未来をつないでまいります。

市内における出産環境の整備について

【意見等】
市内に分娩可能な施設がありません。若者が安心して市内で出産できるように、環境整備に努めてほしいです。

【回答】
分娩施設の誘致に向け、6千万円の補助制度を設けて継続的に取り組んでいます。小児医療に関しては、18歳までの医療費無償化の実施や地域の医療機関が平日夜間の診療を開始しており、引き続き地域における医療提供体制の充実に努めてまいります。

しずか館の跡地活用と栗橋駅東口の整備について

【意見等】
解体しているしずか館の跡地活用計画を伺います。また、栗橋駅東口ロータリーの拡幅や利便性向上のためのスーパードライブを要望します。



放課後における児童の居場所確保について

【意見等】
青毛小学校区内は放課後の遊び場が少なく、特に雨天時の居場所に困っています。学区内での行動制限もあるため、公共施設や空き教室をスタッフ配置のうえ開放するなど、居場所の拡充をお願いします。

【回答】
低学年の行動範囲や安全を考慮し、原則学区内での活動を指導しています。毎日ではありませんが、放課後子ども教室があるので、ご利用ください。

また、公共施設をごどもたちの居場所として有効活用することは重要と認識しています。地域の大切な宝であるごどもたちが安心して過ごせるよう、施設開放のあり方について検討してまいります。